

式辞

桜の花も咲き誇り、春の躍動を日に日に感じるようになりました。この佳き日に保護者の皆様のご臨席のもと、新入生を迎え、令和5年度茨城県立日立工業高等学校の入学式を挙げていただけますことは本校にとりまして大きな喜びであり、心から感謝申し上げます。

ただ今入学を許可いたしました、全日制定時制あわせて139名の新入生諸君、入学おめでとう。心から皆さんを歓迎いたします。また保護者の皆様にも、お喜びを申し上げます。

今、皆さんの心の中は、きつとこれから始まる高校生活に対して希望に満ちた気持ちと、不安な気持ちとが入り交じっているのではないかと思います。どうか今日の日を忘れず、この学校で出会う仲間達と切磋琢磨して、多くのことを学び・考え、最大限成長してください。

本校は、誠実、剛健、自主、創造の校訓のもと日々教育活動に取り組んでいます。

誠実とは、まこと、偽りのない心、本当であることです。相手に対して言動や行動に嘘偽りがなく、正しくある様子、それが誠実です。

剛健とは、心身ともに強くたくましいことです。これからの高校生活において、様々な困難に正面から立ち向かい、精神的、身体的の両面で成長することを期待しています。

自主とは、自ら判断し行動することです。この学校で経験したこと学んだことを最大限活かして、自らの人生を切り開いて欲しいと思います。自分の人生の主人公は自分なのです。

創造とは、それまでなかったものを初めて作り出すことです。IT技術、人工知能など、急速に技術が進歩し社会は変化しています。これまでの概念にとらわれず、常に学び続け、学ぶ仲間と議論を交わし、新しい技術や価値観を創造していく、それを可能とする環境がこの学校にはあります。皆さんが新たな価値を創造することを期待しています。

さて、新たな価値の創造に関連し、本校の校章と校歌について知っておいて欲しいと思います。昭和23年に新制工業高等学校へ昇格したのを機に、新しい校章と校歌を作成することになりました。そこで、生徒会が生徒・職員全員に校章のデザインと校歌の歌詞の応募を呼びかけ、校章は生徒がデザインしたものが、校歌の歌詞は国語担当の教諭が作詞したものが選ばれました。この校章は、三角定規とペンを組み合わせた本校の歴史と伝統を象徴するものとして現在まで親しまれています。校章も校歌も、著名人に頼らず生徒と教員が手作りしたものです。私は、このような校風を持つ本校を誇りに思います。

この校訓や校章の意味を一人一人が理解し、この学校で多くのことを学び、大いに活躍することを期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様、私たち教職員一同お子様の教育に全力で取り組んでまいります。学校と保護者との強い絆が、学校を支える大きな力となると信じています。PTA活動など積極的にご参加いただき、学校を支えていただければ幸いですようお願い申し上げます、式辞といたします。

令和5年4月7日

茨城県立日立工業高等学校長 西野守郎